

2022 年 11 月 29 日

国土交通省主催「2022 年度 災害物流研修」が行われました



トラックターミナルの役割について説明



近物レックス㈱からの荷捌き業務の説明

2022 年 11 月 9 日（水）、日本自動車ターミナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田裕司、以下「JMT」）が管理・運営する足立トラックターミナル（足立区入谷）において、国土交通省主催の「2022 年度 災害物流研修」現場体験学習が行われました。

同研修は、大規模災害発生直後における円滑な支援物資物流を実現するために、その専門知識を習得し事務能率の向上を図ることを目的として、11 月 8 日（火）～11 日（金）の 4 日間、地方運輸局や自治体、トラック協会、物流事業者等の防災担当者ら 41 名を対象に行われました。当社施設を使用した同研修は、新型コロナウイルスの影響により 3 年ぶりの開催となりました。

JMT のトラックターミナルは国の民間物資拠点にリストアップされていることから、現場体験学習として足立トラックターミナルにおける災害対策の取組みを紹介しました。

発災後 72 時間対応可能な非常用自家発電設備や災害用備蓄品倉庫などを見学するとともに、東京都地域防災計画における広域輸送基地の役割等の説明を行いました。

さらに、本トラックターミナルの利用事業者である近物レックス株式会社（本社：静岡県駿東郡、代表取締役社長：堀内悟）にご協力いただき、フォークリフトを使った荷物の取扱いの実演や災害時の対応等について紹介いただきました。

JMT は、大規模災害時における輸送拠点としての役割を発揮するために、これからも国や東京都、関係事業者との連携を積極的に進めてまいります。

以上